

2019  
11

# Shimizu



**特集** まちのミライ予想図を描く

**ゆう・える** 文化賞・スポーツ賞受賞者紹介

写真 図書館絵本カフェ たのしさふくらむお話し会&バルーンショー

総合計画に幅広い住民の声を反映させるための  
新たな取り組み

# 無作為抽出による 住民協議会の立ち上げ

今年6月、無作為抽出で選ばれた町民2千人に対し、町民アンケートを実施。アンケート回答者から住民協議会委員を募集し、51名が選出されました。

無作為抽出で人選し、総合計画を策定するのは本町では初の試み。

幅広い層の住民が参加することにより、住民が行政や地域のことを「自分ごと」として捉え、議論されいくことを重視しています。

住民協議会は9月に発足し、会合の名称を「清水ミライ自分ごと化会議」に。同会議では、今後のまちづくりに係る農業や食、文化・スポーツなど6つのテーマについて、住民が中心となり意見を交わしています。

その他、住民との対話を深めるため、5月から7月にかけて各種団体とのまちづくり懇談会を実施。また、12月には各地域との懇談会も予定しています。

それと並行して、町では各種団体の代表者や住民からの公募委員による町総合計画審議会を設置し、幅広い視点で、多くの住民の意見を取り入れていきます。

同計画の素案がまとまり次第、皆さんにお示しし、ご意見をいただく準備を進めています。



## 第5期総合計画 (平成23年度～令和2年度)

- まちの将来像  
「みんなで活き生き 豊かさ育むまち とかしみず」
- 5つの重点項目と施策
- ①自然と共生する安全で快適なまちづくり  
自然環境・安全安心な生活環境・快適な住環境への施策
- ②誰もが健康で思いやりのあふれるまちづくり  
健康・福祉・子育て支援の施策
- ③新しい時代を担う人材を育むまちづくり  
教育・文化・スポーツの施策
- ④町の資源を活かした活力あるまちづくり  
農業・ブランド化・商工業・観光の施策
- ⑤みんなで創る協働のまちづくり  
協働のまちづくり・効率的な行政・広域連携

第5期総合計画策定では、公募した町民28人と役場職員25人によるまちづくり計画策定委員会を設置。合計80回以上会議を開催し素案を作成。その他に、町民意見を反映させるため、まちづくりアンケートや町民100人懇談会、町長とのふれあいトークなどを実施しました。

「他人ごと」ではなく  
「自分ごと」に

「清水ミライ自分ごと化会議」では、無作為抽出で選ばれ、さらにその中で手を挙げてくれた委員の皆さんと、行政が行っていることや地域の身近な課題などについて議論を進めています。



企画課政策企画係  
田村 幸紀 係長

「自分ごと」として考えることはとても大切です。協働のまちづくりをさらに進める新たな手法として、自分ごと化会議はアクセル全開で進行中です。

今回の計画策定に限らず、今後のまちづくりを進めていく中で何事にも「自分ごと」として考えることはとても大切です。

この作業を経て住民と職員が一体となって次期総合計画をつくり上げることができたなら、きっと親しみを持てる本当の意味で「自分たちの10年後のミライ予想図」になると確信しています。

大切にしていくのは、課題を他人ごととせず「自分ごと」として考えることです。

## 特集 まちのミライ予想図を描く

### 第6期総合計画の策定に向けてスタート

総合計画とは、清水町をどんな「まち」にするか、まちが目指す将来像を示し、そのために誰が、何をしていくのかを長期的な視点で総合的にまとめたものです。社会情勢の変化に対応しながら、子育て、教育、医療福祉、インフラ整備といったすべての基本となる町の最上位の計画です。

第6期総合計画は令和3年度から令和12年度までの10年間の計画で、令和2年度に策定します。

策定に向けた取り組みについて特集します。

# ■清水町の「強み」と「課題」は？

※アンケート結果は抜粋したものを掲載しています。詳しくは町HPで公表しています。



<b>強み</b>	交通の要衝	高速道路 I C、2つの峠、2本の国道、特急が停まる JR十勝清水駅があり、交通の利便性とアクセスがしやすい。
	豊かな自然と景観	豊かな自然を身近に感じ、日高山脈の山並みがとてもきれい。空気や水が清らかで、静かな環境で住みやすい。
	農業・畜産	盛んな農業と畜産のバランスがよく両立している。人より牛の数のほうが多い。
	食	十勝若牛・乳製品、アスパラ・小豆などの新鮮な農産物がある。牛玉ステーキ丼や牛とろ丼などで知名度がアップ。
	子育て支援	医療費や教育費の支援等、出産・子育てから教育までサポートが充実。
	イベントや観光、公園	自慢できる特産品の十勝若牛アスパラまつりや肉丼まつりでは多くの人が来場。清水公園や十勝千年の森など大自然の中に大きな公園があるのも強み。
	農産加工と企業	農産加工の大規模工場がある。町外に名の通る企業がいくつかある。
	商店街	コンビニやスーパーが充実しコンパクトにまとまっている。地元食材を使用した美味しいお店がたくさんあるのも強み。
	文化・第九	学校のチャイムが第九。子どもたちが第九を歌える。
	アイスホッケー	アイスアリーナがあり、アイスホッケーが盛ん。
	その他	公共施設が充実。帯広市への通勤圏内。コイノヨカンプロジェクト活動が活発。

<b>課題</b>	強みを活かす	まちの強みはたくさんあるが、それを活かしてきれていない。
	商店街の活性化	日曜定休などにぎわう機会を逃している。シャッター街なのが寂しい。
	雇用の創出	若年層が望む魅力と安定のある雇用の場が少ない。
	道の駅	交通の要衝を活かした道の駅をつくるべき。
	通過型の改善	清水町は目的地ではなく、観光地への通過地点となっている。
	情報の発信	観光やまちの資源のアピールが足りない。町の施策も町外にPRすべき。
	子どもの遊び場	遊具が充実し、子どもたちが屋外で安全に遊べる公園が少ない。
	観光振興	イベントはあるが、日常的に観光客が立ち寄れる場所が少ない。
	イベント	清水ならではのイベントをまちを挙げて開催するべき。
	特産品のPR	誰もが立ち寄る直売所などの特産品を提供できる場所をつくる。
	環境対策	悪臭への対策。
	医療の充実	本町にはない専門診療科がある。不安。
	御影地区対策	御影地区に商業施設が少なく買い物に不便。
	空き家対策	空き地・空き家・空き部屋の情報を共有し有効活用する。
	企業誘致	雇用拡大のため企業誘致を。

# 町民アンケートから分析！ ミライのまちづくりへのヒントを探る

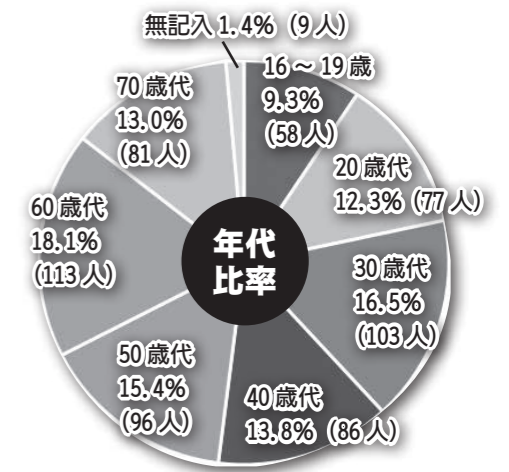
## 「清水町」で連想する キーワード ベスト25

- 1 酪農のまち
- 2 美味しい水や食材
- 3 豊かな自然・景色
- 4 牛玉ステーキ丼・牛とろ丼
- 5 農業のまち
- 6 第九のまち
- 7 アイスホッケー
- 8 日勝峠・日高山脈
- 9 十勝若牛
- 10 田舎・土地・清流
- 11 交通の便が良い
- 12 アスパラ
- 13 鳥せい本店
- 14 ウッチャン
- 15 においがする（堆肥等）
- 16 十勝千年の森
- 17 穏やかなまち（静か・のどか）
- 18 災害復興
- 19 十勝若牛・アスパラまつり
- 20 清水公園
- 21 商店街が閑散としている
- 22 子育て支援の充実
- 23 大手企業の工場がある
- 24 魅力がない
- 25 移住や観光の取り組みが弱い

## アンケート回答率

2,000人中 623人が回答  
(回答率 31.2%)

●男女比率  
・男性 41.6% (259人)  
・女性 53.8% (335人)  
〔※無記入 4.6% 29人〕



■アンケートの結果から、町民が連想する「キーワード」、そして町の「強み」、「課題」から現状を分析。これからのまちづくりを考えていくヒントに。



『10年間のまちをどのように描くか』  
住民協議会「清水ミライ自分ごと化会議」のテーマに！

●イメージ  
「酪農の町、若牛やアスパラ」  
●未来のまちは  
「子どもからお年寄りまで安心して医療が受けられる町に！」

●強みは  
「病院やスーパーが多い」  
●未来のまちは  
「人口減を見据えたコンパクトなまちづくりを」

●イメージ  
「食のイベントが多い」  
●未来のまちは  
「生まれ育った子どもたちが住みたいと思える町になってほしいですね」

●強みは  
「高速のICやJRがある交通の便の良さ」  
●未来のまちは  
「人口を維持するためにも雇用の充実を！」

●イメージ  
「においが気になります」  
●未来のまちは  
「子どもたちが外で元気いっぱい遊べる場所が増えてほしい！」

●イメージ  
「牛・豚肉が美味しい」  
●未来のまちは  
「もっと活気のあるまちになってくれたらうれしいですね」

●イメージ  
「自然がいっぱい！」  
●未来のまちは  
「町の人たちが仲良く連携が取れる町になるといいな！」

板橋 亜紀さん

石川 邦宏さん

山川 牧子さん

宮城 金次さん

杉山 彩佳さん

野々村 直美さん

野々村 陸社くん (小1)

上谷 真斗くん (小5)

上谷 一真くん (小1)

★まちかどインタビュー★  
あなたの「まちのイメージ・強み」、  
「未来の清水町はこんなまちに！」は？  
★防火フェスティバル会場・  
清子連親子交流事業で  
聞きました！

# 住民協議会委員にインタビュー

## 「将来の人口に見合った「ちょうどいい町」に」

出身の群馬県を離れて、北海道で教職員となつて20年以上になります。3年前にオホーツク管内から御影に移住してきました。御影はまさにコンパクトな地域。自然が豊かで、交通の利便性がよく医療機関もあり、都会過ぎず田舎過ぎない。家族ともども住みやすい地域だと思つています。協議会委員には、自分で何か貢献できることがあればと考え応募しました。第2回目の会議の際に「第九」について、20年以上も町に根付いている文化であることを認識してはなかった。未来に向けての継続方法など、ひと工夫したほうがよいのではと感じました。今私たちの話し合つていくことが、将来のまちづくり計画に反映されると聞いています。人口減少は避けられない社会現象だと考えますので、人口に見合った「ちょうどいい町」をイメージした計画になつてほしいです。



櫻井 雄一郎 さん  
(青葉町内会)

## 「交通の利便性を活かした町の魅力発信を」



高田 光 さん  
(西清水町内会)

町民アンケートを通して、生まれ育つた清水町についてあらためて振り返る機会となり、これからのまちづくりに興味を持ち、委員に応募しました。会議は気軽に話し合える雰囲気なのか、私のような20歳代の人もいれば70歳代の人もいて、そしてさまざまな職業の人と意見を交わすことができていると感じています。清水町は道東の玄関口として高速道路ICがあり、交通の利便性がよいのに、まちづくりに活かされていなくて感じます。イベント以外で、観光シーズン中にアンテナショップなどを清水公園や国道沿いなどに設置して、町の魅力発信をしてはどうかと思います。今後、移住対策も必要ですが、今住んでいる町民に充足感を与えることも大切です。将来の清水町が、子どもたちが住みたいと思える活気のある町になつてくれればいいです。



51人の住民協議会がスタート！

# 清水ミライ自分ごと化会議

第6期総合計画策定に向けて、無作為抽出で選ばれた51人の住民協議会委員。

学生や主婦、子育て世代、現役サラリーマン、シニア世代など幅広い層から応募いただきました。

住民協議会「清水ミライ自分ごと化会議」では、町民アンケート結果で興味の高いものをテーマにし、「こんな町になったらいいな」「こんな町にしたい」という理想の姿や、日頃から感じているまちづくりの課題について、『自分でできること』『地域でできること』『行政の役割』について話し合っていきます。

○住民協議会委員の男女・年代比率

年代	住民協議会委員			年代率
	男	女	計	
16～19歳	3	1	4	8%
20歳代	2	4	6	12%
30歳代	2	5	7	14%
40歳代	4	4	8	15%
50歳代	9	3	12	24%
60歳代	5	3	8	15%
70歳代	4	2	6	12%
合計	29	22	51	100%
	57%	43%	-	-

どなたでも傍聴できます。ご来場ください！

●第3回目テーマは

「立地・交通アクセス」

12月1日 日 14時～

●会場 ハーモニープラザ

問 企画課政策企画係 ☎62-2114

●第4回目テーマ

「高齢化への対策」

●第5回目テーマ

「子育て環境の充実」

●第6回目テーマ

「情報発信・まとめ」

※日時が決定後、広報しみずお知らせ版等で周知します！

●第1回目テーマ

「食・農業」 ■9月1日開催■

■キーワード■

「農業」「食育」「ご当地グルメ」「地産地消」

- 農産物ブランド化は「十勝」にネームバリューがあるので十勝全体で進める。
- 子どもたちに清水町の食が豊かだと感じる体験をさせる。
- ご当地グルメなどを地元の食として浸透させる。家庭での作りやすさや価格面で手軽感を。
- 清水でしか食べられない食を強みにする。
- エリアを町内<道内<国内など広範囲で考えたなかで地産地消を考える。

●第2回目テーマ

「文化・スポーツ」 ■10月5日開催■

■キーワード■

「アイスホッケー」「第九」「文化・スポーツ施設」

- ホッケー留学生の受入れ態勢を充実しては。
- 学校行事や町民が気軽に参加できる第九イベントの継続実施を。
- 第九を町として推すなら行政のバックアップは必要。
- 必要最小限の施設を集約して、コンパクトに残してほしい。
- アイスアリーナの施設維持経費をクラウドファンディングで募ってみてはどうか。

Hot news!  
清水高校生が活躍!

## 2年連続グランプリ! パン甲子園

清水高校生産技術系列(3年次)  
曾根 拓馬さん、山田 皓太さん  
藤田 成之介さん



曾根拓馬さん 山田皓太さん 藤田成之介さん

高校生による創作パンのコンクール「第7回パン甲子園 in いわみざわ」が、10月6日に岩見沢市で開催され、清水高校が最高賞のグランプリに輝きました。3人組で出場、書類選考を通過した6チームで競われました。

3人ともコンクール出場初経験。昨年度に先輩たちが優勝しており、プレッシャーを感じていたといいます。夏休みを返上しパンを試作。コンクール当日は、あんこ・生地づくりから完成まで3時間半、各自の役割分担を冷静にこなすことができ、審査員からは手際よさを褒められたそうです。

今回の経験を通じて、山田さんは「自信がついたし、チームワークの大切さを感じた」、曾根さんは「今後さまざまな種類のパンをつくるのによい経験になった」、藤田さんは「達成感があった。パン成型技術をさらに高めたい。」

と話していました。

来年春に卒業を迎え、山田さんと曾根さんは(株)満寿屋商店に就職が内定、藤田さんは調理師専門学校に進学希望とのこと。

今回グランプリに輝いたパンを味わえる機会として、町内では生産技術系列生徒が期間限定で開店するカフェ(会場:ハーモニープラザ11月下旬予定)や、ますや麦音店(帯広市稲田町)でも期間限定(12月上旬)で販売される予定です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



『サンティエールージュ・ドゥ・カンパーニュ』  
フランスパンの生地に清水町産小豆を材料にしたあんを三層に包んだ洋風あんパン。



清水高校生産技術系列(1年次)  
山崎 花菜さん

## うまいっしょ北海道学生料理コンクール3位!

食のプロを目指す学生の料理コンクール「うまいっしょ北海道学生料理コンクール」が10月13日に三笠市で開催。山崎さんは、学生部門で審査員特別賞の3位を受賞しました。

コンクールテーマは鶏肉。山崎さんは新得地鶏を釜で炊いた炊き込みご飯を出品。練習では釜飯が焦げないよう火加減の調整や味付けが難しく、また2時間の時間制限をなかなかクリアできなかったそうです。

当日は、しっかり練習の成果を発揮でき、制限時間も8秒前に終了しクリア。「3位受賞はまさか自分がと驚いた。ずっと応援してくれていた家族が喜んでくれて実感した。」と話していました。

山崎さんの将来の夢はパティシエ。「お菓子のコンクールにも出場したい!」と目を輝かせていました。



『とかち野地鶏飯~十勝の味覚炊き~』  
地鶏釜飯・十勝産根野菜の煮物・お吸い物・かぶの酢の物



## 鈴木 るりか

\*プロフィール\*

年齢 15歳  
出身 東京都  
略歴

12歳の文学賞で3年連続大賞受賞。中学2年生で小説家としてデビュー。現在高校1年生。

新刊「太陽はひとりぼっち」発売中!

3月に清水ミライ会議で講演していただいた中学生作家の鈴木るりかさん。十勝への思い、本町との縁、自身の十勝での体験などをふんだんに盛り込んだコラムです。

## 十勝探訪記⑤



搾乳についての説明を受ける。牛の乳はパンパンに張り切っている。その乳を、文字通り搾るのだ。手本を見せてもらう。リズムカルな指の動きに合わせて、乳がびっくりするほどの勢いで出る。難なくやっているように見えるが、実際自分でやってみると、思ったように指がうまく動かない。それでも自分の飲む分は、搾乳できた。搾りたてをいただく。思ったよりも、やわらかく感じて飲みやすい。ほのかな甘みも感じる。もっと牛乳を煮詰めて凝縮したようなものを想像していたが違っていた。ついでさっきまで、目の前にいる牛の体内にあったのだと思うと、まさに「牛さんにいただいている」感じがして、しみじみと味わい深い。そうしている間にも、牛舎のあちこちで牛が放尿、脱糞し、それを手際よく処理していく牧場の方。これは本当に大変なお仕事だ。土日祝日も、牛には関係ない。人間の都合で「今日は、ちょっとダルいから、餌も搾乳も明日でいい? おしっこもウンチも止めておいてくれる?」というわけには

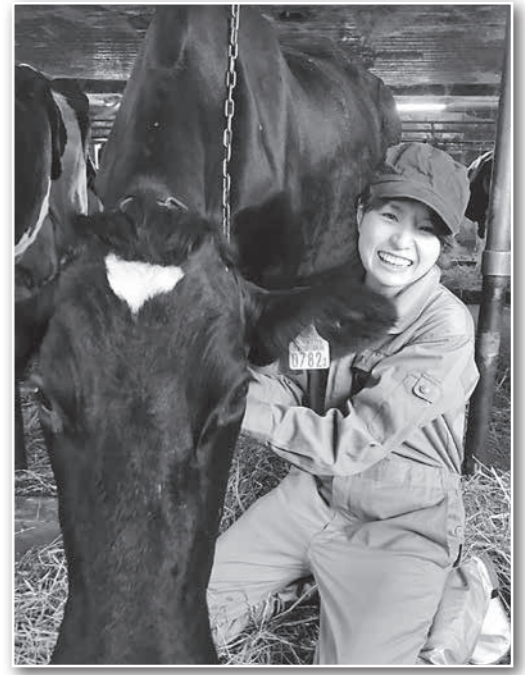
いかないのだ。生き物相手の仕事は待ったなし。今は搾乳を機械でやるとはいえず、毎日、極寒の早朝から、牛舎で人が働いていることは昔から変わらないのだ。そうして人々の元に届けられる牛乳。それが一リットルパック二百円前後。これは破格の値段なんじゃないだろうか。酪農の大変さを知ったあとでは、もう感覚的には、一本千円ぐらいでもいい気がする。と、そんなわけにもいかないだろうから、せめて今後牛乳をいただく時は、牛さんに、人に、感謝して飲むうと思った。

だ。母を見ると、しっかりとバターらしきものができている。私のは、どうもゆるい感じ。「あー、これは。手の温度がちよっと高かったかな」どうやら私はバター作りに失敗したらしい。「見て。お母さんのは、ちゃんとできてる。ほう、この色。高級レストランで出てくるバターそのもの。ほら、すぐくれない?」母が自慢げな顔で自分の作ったバターを見せてくる。母は年齢により、血の巡りが悪く、手足などの末端が慢性的に冷えているからうまくいったのではないかと、と思ったが黙っておく。「あ、でも、るりかちゃんのもホイップバターみたいで、ホットケーキやクラッカーに乗せたりしたら美味しいと思いますよ。こっちは、うちで商品化してもいいかも」という奥さんのフォローの言葉に救われた。



農林水産省から農業研修

中村あすみさん



農林水産省職員の中村あすみさんが、9月から10月にかけて、町内の水津農園で農業研修体験をしました。

中村さんは埼玉県出身で、山口大学共同獣医学部を卒業後に農林水産省に入省。現在、家畜飼養衛生管理などを担当されています。

水津農園では、朝晩の搾乳、餌やり、子牛の哺乳などの牛の世話のほか、白菜の収穫などを体験しました。

中村さんは「北海道を訪れたのは今回で2回目。走るのが好きなので、カラッとした空気が風が気持ちよかったです。また、早朝にトマムの雲海を見に行き、荘厳な景色に感動しました。」と北海道の雄大な自然を実感し

たと話していました。

また、食の体験で心に残ったのは、水津さん家族と釣りを楽しみ、自分で釣ったさばをしめさばにして大巻きで食べたこと。他にも、乳牛の初乳でつくる牛乳豆腐を初めて食べ、その美味しさに驚いたことなど、食材の新鮮さや美味しさ、十勝ならではの食の恵みを感じたそうです。

今回の研修を通して、「水津農園の家族の皆さんが、とてもあたたかく迎え入れてくれて、感謝しています。農家の実情を知ることができても勉強になりました。政策を立案する立場になっても、この経験を忘れずに現場に寄り添った仕事をしていきたい。そしてまた清水町へ訪れたいです。」と笑顔で話していました。

福祉のひろば

生活や仕事のこと困ったことはありませんか？  
とがち生活あんしんセンターへ相談を

ここ数年、世の中がめまぐるしく変化し、働くことができる人が急に仕事を失ったり、頑張っているのになかなか生活が安定しなかったりなど、心配ごとや困りごとを抱えながら暮らしている方が少なくありません。

生活や仕事の困りごとを誰かに相談したいものの、それはハローワークなのか、警察なのか、弁護士なのか、病院なのか、役場なのか、自分で判断がつかず、最初の一步が踏み出せずにいませんか？

「とがち生活あんしんセンター」では、生活に困っている方の相談にのこります。まずは、電話・メールで問い合わせしてみましよう。今ある課題を一つずつ解決していきましょう。

★どんな人が対象？ 料金は？  
生活に困っている人が対象で、年齢制限はありません。相談は無料です。

★どんな相談ができるの？  
「仕事や生活の事で困っているのに誰に相談していいかわからない」など様々な悩みについて相談いただけます。

★予約は必要ですか？

ご相談はプライバシー保護の観点から、予約制とさせていただきます。まずは電話でお尋ねください。



とがち生活あんしんセンター

- 住所 帯広市東4条南18丁目13番地1
- 利用時間 月・火・木・金曜日 9時～18時
- 水曜日 9時～20時
- 第1・第3土曜日及び第2・第4日曜日 9時～12時
- 電話 0155-66-7112
- FAX 0155-66-7113
- Eメール anshin@tokachi18.hokkaido.jp
- ホームページ http://tokachi18.hokkaido.jp

保健福祉課 福祉係  
☎0156-69-2222

「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞ。

HELLO BABY



いっぱい遊んで笑おうね！



元気に大きくなってね！

山本 大誠 ちゃん

矢作 ゆうり ちゃん



ノロウイルスを撃退しよう！

倉重 千晶 保健師

ノロウイルス感染症は、腹痛や嘔吐、下痢等の辛い症状を引き起こす感染症で、例年冬に流行します。非常に感染力が強いため、特に注意が必要です。

日頃の予防方法は？

- 予防の基本は十分な手洗い。ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぐのを一度繰り返す。
- タオルの共用は避け、できれば使い捨てタオルを使用する。
- 食品は中心部までしっかり加熱して食べる。
- ドアノブや電気のスイッチ等は、塩素濃度0.02%の消毒液で拭く。
- ※ 500ミリリットルのペットボトルの水に、ペットボトルキャップ半分弱の塩素系漂白剤（5%濃度）を入れると0.02%の消毒液ができます。

感染者が出た場合は？

- 速やかに医療機関を受診する。
- こまめに水分補給し脱水を防ぐ。
- おう吐物や、排泄物で汚れた場所は、次の手順で消毒して感染拡大を防ぐこと。
- ① 使い捨て手袋をはめ、新聞紙や

ペーパータオルで静かに汚物を取り除く。

- ② 汚物を取り除いた後、塩素濃度0.1%の消毒液に浸したペーパータオルで外側から内側に向かって丁寧に拭く。
- ③ 消毒液で拭いたあと30分後に水拭きをする。
- ④ 汚物処理に使ったペーパータオル等は、ビニール袋で二重に密封して捨てる。
- ⑤ 衣類やシーツは、85度以上の熱湯に10分以上漬け込んでから洗う。
- ⑥ 洗濯ができないものは、汚物をふき取ったあとよく乾燥させ、スチームアイロンの蒸気を1分以上当てる。
- ※ 500ミリリットルのペットボトルの水に、ペットボトルキャップ2杯の塩素系漂白剤（5%濃度）を入れると0.1%の消毒液ができます。

予防の基本は十分な手洗いです！



# しみず教育の四季

秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく

## 第2回コミュニティスクールを開催

第2回コミュニティスクール（CS）委員会清水ブロック会議が行われました。その中では、地域の皆様にかかわっていただいた授業で、子どもたちが生き生き学習する様子や、子ども、保護者、教員による学校アンケートの評価・分析、今後の取り組みについてなど校長先生から丁寧な説明がありました。事務局からは清水・御影の各学校のCSの取り組みについて報告が行われ、それぞれの学校の特色ある姿が映し出されました。熟議では幼・小、中のグループに分かれ、学校への質問、学校からの要望、CSの年度目標についてなど活発な意見交換が行われました。まとめでは、「しみず「教育の四季」」の充実に向けたCSの役割について課題が提示



されました。後日、御影ブロックにおいても会議が行われました。

## 図書館だより

### 新着図書からピックアップ

『ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる』片山杜秀著 / 文藝春秋  
音楽は、演奏家や聴衆など多くの人が関わって成立する芸術で、世相を色濃く反映します。そのことに注目し、音楽を切り口に歴史を解説しています。特に、文化の担い手が貴族から市民へと転換した時代に生きた音楽家で、清水町に縁深い『第九』の作曲者ベートーヴェンについて詳しく書かれています。

- 『逃亡小説集』 吉田修一著 / KADOKAWA
- 『祝祭と予感』 恩田陸著 / 幻冬舎
- 『人間』 又吉直樹著 / 毎日新聞出版
- 『巡礼の家』 天童荒太著 / 文藝春秋
- 『ライオンのおやつ』 小川糸著 / ポプラ社
- 『偉人たちの辞世の句』 若林良著 / 辰巳出版

※文化団体・体育団体活動紹介は紙面の都合により今月は休載します

## 清水町スポーツ奨励賞



たむら おさむ  
田村 修 さん

平成7年から現在まで24年間にわたり清水サッカースポーツ少年団の指導者として青少年の育成に尽力し、本町の青少年スポーツの振興に貢献されました。

## 清水町スポーツ奨励賞



きくち よしお  
菊地 芳男 さん

平成7年から現在まで24年間にわたり清水サッカースポーツ少年団の指導者として青少年の育成に尽力し、本町の青少年スポーツの振興に貢献されました。

## 清水町文化賞・スポーツ賞表彰式



※表彰式当日、高金さんは欠席

「ゆう」は、友・YOUから人と人の関わりを大切に和を広げていくことと、遊・「える」は、ドイツ語のLeben（生涯）、英語のLife Long Learning（生涯学習）

## 清水町文化賞



まえ こと  
前 ヒサ子 さん

永年にわたり剣詩舞道並びに詩吟の普及と後進の育成に尽力するとともに、平成13年から現在まで18年間にわたり清水町文化協会役員を務め、本町の文化振興に大きく貢献されました。

## 清水町スポーツ奨励賞



たかがね のぶあき  
高金 信昭 さん

清水町スポーツ少年団リーダー会の指導者としてスポーツリーダーの養成に尽力するとともに、平成4年から現在まで27年間にわたり清水町スポーツ少年団本部役員を務め、本町の青少年スポーツの振興に貢献されました。

## 清水町スポーツ奨励賞



てらおか はるひこ  
寺岡 治彦 さん

清水町柔道スポーツ少年団の指導者として青少年の育成に尽力するとともに、平成8年から現在まで23年間にわたり清水町スポーツ少年団本部役員を務め、本町の青少年スポーツの振興に貢献されました。

## 学習情報



# 令和元年度 文化賞・スポーツ賞受賞者紹介

11月3日、令和元年度清水町文化賞・スポーツ賞表彰式が役場地下大会議室で開催され、5個人に各賞が贈られました。

この表彰は、本町の文化・スポーツの振興のために、永年にわたり貢献された方や、文化・スポーツ大会において優秀な成績を収められた方を表彰するものです。表彰式では三澤史佐子教育長から各受賞者に楯が授与された後、受賞者を代表して前ヒサ子さんから謝辞をいただきました。

受賞された皆さんに心よりお祝い申し上げます。

裕から心のゆとり・やすらぎ、豊かな心を身につけようという意味が込められています。のそれぞれの頭文字L（える）と、日本語の「得る」という意味を持っています。

人口 9,376人 (+1)  
 男 4,611人 (-3) 女 4,765人 (+4)  
 世帯数 4,732 (+8)  
 令和元年10月末現在 ( )は前月比

TOWN EVENT CALENDAR 11/16 ~ 12/15

11/16	土		12/1	日	■エントランスホール展「安曇達雄水彩画展」(～29日) (図書10時)
17	日		2	月	
18	月		3	火	
19	火		4	水	
20	水	■中学生対象芸術鑑賞会 (文セ13時30分)	5	木	■町民と町長のふれあいトーク (役場9時)
21	木	■運転免許更新時講習 (文セ優良13時30分、一般14時30分、違反16時)	6	金	
22	金		7	土	■清水高校合唱祭 (文セ8時30分)
23	土		8	日	
24	日		9	月	
25	月		10	火	
26	火	■しみず「教育の四季」講演会 (文セ14時) ■しみず「教育の四季」子どもフォーラム (文セ15時30分)	11	水	
27	水	■札幌十勝しみずコンサートR 01 (文セ18時30分)	12	木	
28	木		13	金	
29	金	■清水町子ども大会作品展示会 (～12月4日) (文セ17時)	14	土	
30	土		15	日	

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
 ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
 消防=清水消防署 第1=第1保育所 第2=第2保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
 清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校

年末調整とは  
 毎年、この時期になると、職場で年末調整に係る各種申告書が配られます。今回は、年末調整の大まかな流れをお知らせします。

毎月の給与や賞与から税金が引かれている  
 毎月の給与と明細書を見ると「所得税」という名目で給与に係る税金が控除されています。賞与も同様に所得税が控除されています。この給与や賞与から控除された所得税は、給与の支払者によって税務署に納税されます。つまり、給与所得者は毎月、勤務先を通して所得税を税務署に納税しています。

年間の所得税を確定して、毎月の納税額との差額を調整する  
 1月から12月の給与と賞与の合計額から、給与所得控除後の金額を算出し、そこから所得控除(社会保険料、生命保険料、自身保険料、配偶者控除、扶養控除等)を差し引いて、給与所得金額を求め、それに対応する所得税の年税額を求めます。

この年税額と毎月の納税額の合計(源泉徴収税額)とを比較して、毎月の納税額より年税額が少なければ税額が還付され、逆に毎月の納税額が年税額より少ない場合は、不足分を追加徴収します。

インフォメーション

誕生  
 石田 聖 (航大/実菜)  
 河西 智也 (直行/恵美子)  
 深谷 笑真 (圭/葉月)

哀悼  
 高田 昭 さん 下美蔓1  
 杉村 勇三 さん 公苑東町  
 田口 洋 さん 西清水  
 竹中正信 さん 竹葉

こんにちは 広報モニターです

★表紙の写真の表情が良い。にんじんを文字の前に持ってきたのも良い。  
 ★特集は事業項目ごとに分かれていて、説明が詳しかったので分かりやすかった。  
 ★特集は1ページ目からでなくてもよい。カラーが効果的に思

★実施した事業の評価もあわせて紙面に掲載出来る良いのではないかと。  
 ★鈴木るりかさんの十勝探訪記は物書きの方の筆の力か、手に取るように雰囲気伝わってきた。  
 ★運転免許の題材が良かった。返納した人へのインタビュや町の課題なども含め、もう少し掘り下げた内容にしてほしい。  
 ★祭りを楽しむ様子がたくさん写真から伝わってきた。裏方のスタッフや出店者の方々からの目の写真も見てみたい。  
 ★肉井まつりの写真が若い女性ばかりのように見えた。全体の雰囲気がかると良い。  
 ★カラーページがあと少し増えて、見開きであると読みやすい。  
 ★毎回大量の記事の扱いは大変だと思う。全部を伝えなくて良い。  
 ★活字が読みやすく、写真が綺麗になった。

町長の日記

今朝素敵な贈り物が机の上に。あの中学生(今は高校1年生)作家鈴木るりかちゃんからの3作目「太陽はひとりぼっち」のプレゼントだ。  
 今年3月にるりかちゃん母娘と我が家で語り明かした記憶が甦ります。我が家では、まだ甘えっ娘だったるりかちゃん、きつと素敵な高校生になつてるだろうと思つた。  
 さて、十勝(清水)大好きなるりかちゃんの特寄稿「十勝探訪記」を町広報紙に連載中です。これも執筆活動頑張つてね!  
 また会える日を楽しみにしてるよ!  
 (10月23日の日記より)

町長のフェイスブック「阿部一男」で検索!

ちようみん作品館

短歌と俳句の寄稿がありましたので、紹介します。  
**短歌**  
 朝日映ゆ日高の山並み清らけし 四季の移ろい七色に染む 宗像三郎

詠うこと書くことすべて脳体操と 森山ヤヨイ  
 歌会ひかえて悩むもまた良し  
 大輪の薔薇の花びらぐつしやりと 村谷三恵  
 見てはいけないバラの面見ゆ  
 暑さゆえ食欲不振に悩まされるも 「長月」の風が良薬となり 藤原静子  
 気がかりの庭木の剪定無事終えて 田村徳子  
 風も小鳥も自在に遊べ

俳句

祖父母いて十人暮しの裏庭に 橋本佳代子  
 熟せしアンスのぼろぼろり 高田晴鳥  
 風も小鳥も自在に遊べ 坂下洋子  
 災害のテレビを見ては思ひをり  
 並びて給水受けし彼の日を  
 秋風や駅に小さな別れあり 高田悦子  
 秋惜しむ初冠雪の十勝岳 佐々木とき女  
 ふる里は母の思い出秋の風 高田悦子  
 嵐過ぎ頭もたげる秋桜 村上俊彦

あとがき

10月30日、中学生インターンシップ体験で、御影中学校2年生の太田来武さんが広報係に。「じょうほうかわら版」の職場体験の写真は太田さんが撮影。上手く撮れています!  
 ■トピックス記事の「子ども110番の家」ですが、町内には事業所や個人宅を含め86箇所あるとのこと。子どもたちが困ったときの拠りどころになるといいなと思います。(下保)  
 ■災害はいつやってくるかわかりません。20日に行われた防災避難訓練で、自分の日ごろの備えがどうかを改めて振り返ることが出来ました。■寒さで吐く息が白くなります。■極度の冷え性のようので、手が氷のように冷たいです。こまめに動いて基礎代謝アップを目指します。■季節の変わり目、インフルエンザが流行し始めているようです。手洗いうがい忘れず続けたいです。(長谷川)



# じょうほう瓦版

- 自作絵本の挿絵を展示 - 図書館エントランスホール展  
【洞内由紀子 乳牛の挿絵展】



10/3

- ストレスの要因と対処法を学ぶ - 講座「ココロが軽くなる秘訣」に40名が参加



10/1

- さらなる町の発展を願う - 第64回開町記念式典



10/1

- ゴミ分別を共に考え共有 - 女性団体連絡協議会が「くらしの講座」を開催



10/17

- 清水公園の梅の木を剪定 - 町シルバー人材センター会員がボランティア活動実施



10/16

さわやかな秋空の下、70人が快走 - 走ろうカメの子マラソン・駅伝大会



10/14

町道11号道路の清掃活動を実施したドーピー・高堂災害復旧工事特例共同企業体に対し感謝状贈呈



10/24

災害援助協定を結んでいる宮城県大郷町に、台風19号災害の応援物資として消毒剤等を提供



10/24

- いつ起きるか分からない災害を自分ごとで考える - 町防災避難訓練を実施



10/20

- トリック・オア・トリート! 商店街で子どもたちにお菓子を - 商工会青年部がハロウィン企画



10/31

- 将来の職業選択につなげるために - 清水・御影中学校2年生がインターンシップ体験



10/30

▼太田来武さん(御中)が広報係で写真撮影体験。

▲太田さんが撮影!

文化センターのゴミステーションの塗装を実施した村上土建開発工業(株)に対して感謝状贈呈



10/24

10/19 子ども110番の家をウォークラリーで訪問



町子ども会育成連絡協議会と町中央公民館の共催で、「子ども110番の家ウォークラリー」を実施し、4組9名の親子が参加しました。親子で「子ども110番の家」を訪れ、家庭での防犯意識を高めることが目的で、清水市街地の12箇所を訪問。110番の家で「何か困ったことがあったらおいでね」とやさしく声をかけられると子どもたちは「これからもお願ひします。」と元気にお礼の挨拶をしていました。

10/26 ブラックアウトを教訓に「みんなの消費生活展」



清水消費者協会主催「みんなの消費生活展」が文化センターで開催されました。昨年の胆振東部地震により起きたブラックアウトを教訓に、「災害時に7日間乗り切る備え」パネル展示のほか、備蓄食品の選びかた、防災グッズなどについて紹介。消費者協会が新聞スリッパのつくりかたを手ほどきするコーナーも。来場者は、いざというとき役立つ情報に関心を持って見ていました。

10/16 リズムにのってお手軽体操! 介護予防普及啓発事業



「音楽レクリエーションで楽々体操」心と体のリフレッシュが御影公民館にて行われました。音楽健康指導士である北村瑛貴史さんを講師として迎え、誰でも簡単・手軽にできるストレッチや体操を行いました。サッカーのゴールキーパーなど、スポーツのポーズを取るものがあり、参加者たちは椅子に座りながらゆっくり無理することなく体を動かしました。

10/20 家族で楽しみながら防火を学ぶ



今年で第2回目となる防火フェスティバルが、清水消防庁舎で開催されました。清水消防団による華麗な放水イベントが開幕。会場内では防災グッズの展示や、非常食の試食会、消火器体験やロープを伝っての救助体験等が行われた他、御影消防団による小型ポンプ操作が披露されました。冷たい秋風が吹く日でしたが、会場内はたくさんの方の家族や親子連れでにぎわっていました。

# 清水人

し みず じん



いくつになっても現役宣言！

今だからできる郷土愛のかたち

～ 全ては主人公 9,376 人のために ～

**大**野さんは、西清水町  
町内会会長として活動  
して今年で10年目。他にも  
町内会連絡協議会副会長や  
日ハム清水後援会会長、町・  
団体の各種委員を務めるな  
ど、毎日忙しい日々を送っ  
ています。

**今**年10月、東  
日本を中心  
に甚大な被害をも  
たらした台風19号  
災害。報道を見た  
大野さんは、平成  
28年に本町を襲っ  
た台風10号災害の  
記憶が脳裏に浮か  
んだそうです。当  
時、ペケレベツ川  
が決壊、流域に位置する西  
清水町内会では大きな被害  
が発生しました。

この災害の教訓から町  
では町内会等の自主  
防災組織の結成を推進。西  
清水町内会は先駆けて平成



30年4月に結成しました。  
114戸ある世帯を各班に分け  
防災係を配置し、家族構成  
の把握、避難行動要支援者  
の名簿を作成。さらに年に  
一度、町内会独自で防災訓  
練を実施、各世帯に対して

聞き取りを行い、最新の名  
簿作成に努めています。

「災害を経験したからこ  
そ、自分の命は自分で守る  
という意識を高めたい。災  
害はいつ起きるかかわらな  
い。町内会の皆さんが素早

## 「皆さんの支えで活動 できることに感謝」

### 大野春雄さん (80)

く行動できるような心構え  
につながれば。」と、自主  
防災組織活動への強い思い  
が伝わります。

**現**在80歳の  
大野さん。  
健康には気をつけて  
いるが、年齢を重ねること  
に体調に不安

を感じるこ  
もあるそう  
です。そんな思  
いもあり『外  
出時の緊急避  
難カード』を  
高齢者が携帯  
するよう、3  
年前に役場保  
健福祉課に働  
きかけまし

た。現在、同課では希望者  
に対してカードを発行して  
います。カードには緊急連  
絡先やかかりつけ医等が記  
載され、外出先で体調不良  
になっても周囲に自分の情  
報を知らせることができま

す。大野さんは「いつまで  
も健康で過ごしたいが、何  
かあったときのためにお守  
り代わりにしています。」  
と、高齢者が安心して住み  
続けるためのひとつの手段  
として推進してほしいと語  
られていました。

**最**後に「町内会長をは  
じめ、さまざまな活  
動ができるのも、周囲の皆  
さんのおかげ。これからも  
感謝の心を忘れずに、毎日  
を過ごしていきたい。」と  
話されていました。



10月20日に実施された西清水町内会防災訓練